

4.4 陸域調査結果

陸域調査は、図 4.4-1、図 4.4-2 に示す全 22 海域に対応する陸域を対象として実施した。なお、陸域調査は、対応する陸域区分全体を対象とするのではなく、対象海域に流出する主な河川・排水路の周辺を対象として実施した。なお、河川における堰や砂防ダム等の人工構造物についても情報を収集し、位置等を把握した。

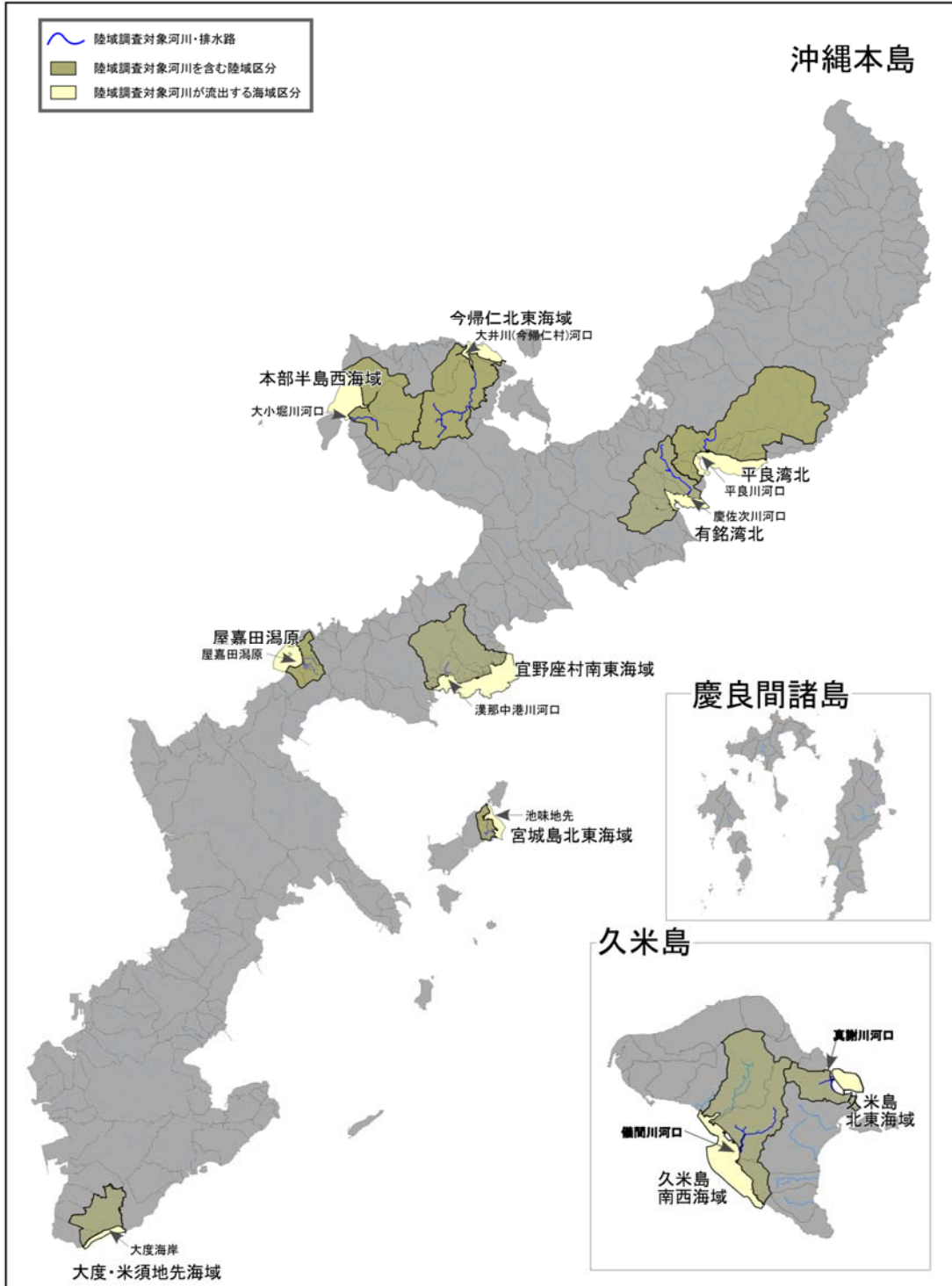


図 4.4-1 陸域調査対象位置図 (重点監視海域調査)(1/2)

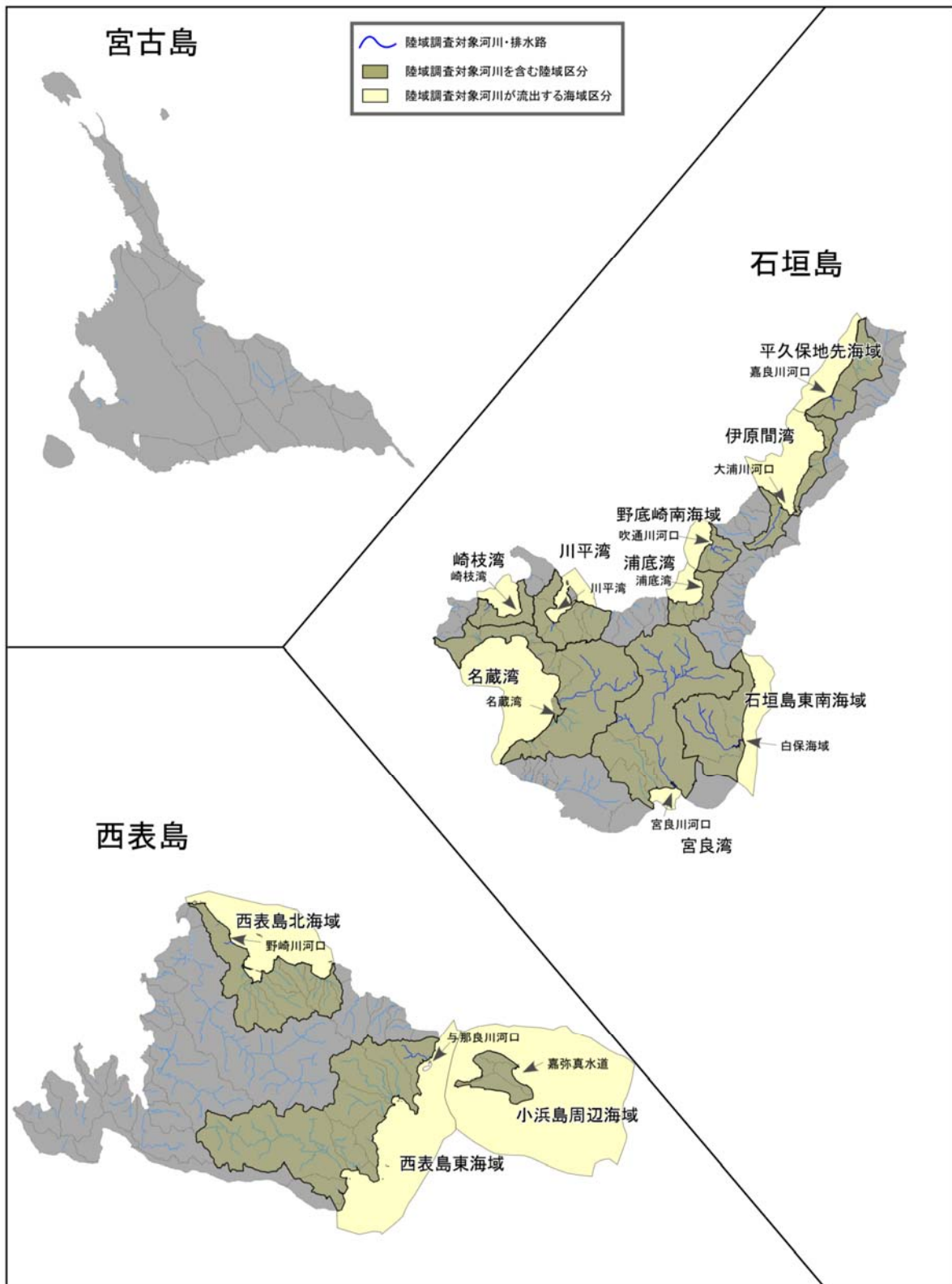


図 4.4-2 陸域調査対象位置図 (重点監視海域調査)(2/2)

4.4.1 海域別調査結果

(1) 大井川(今帰仁村)河口

1) 第1回調査(平成26年6月11日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-3に示した。調査日当日には21.5mmの雨が降ったことから、降雨時の陸域調査として実施した。また、調査当日の毎時雨量を図4.4-4に示した。

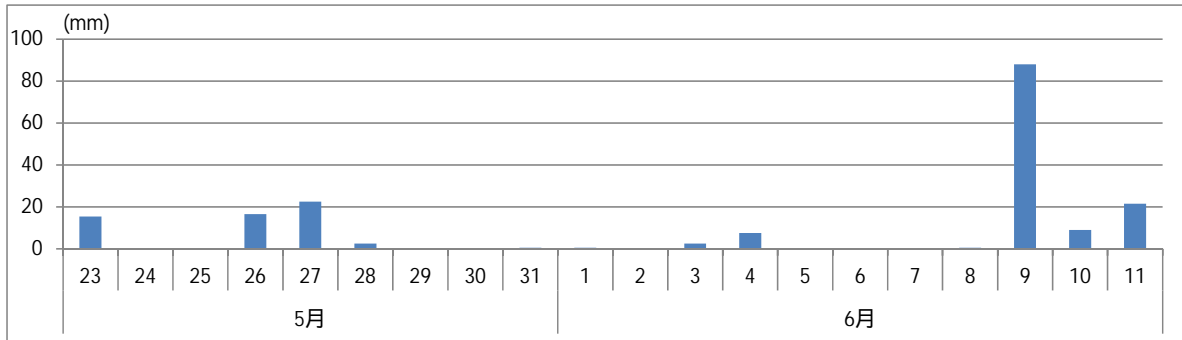


図 4.4-3 調査日前20日間の降雨状況(本部観測所)

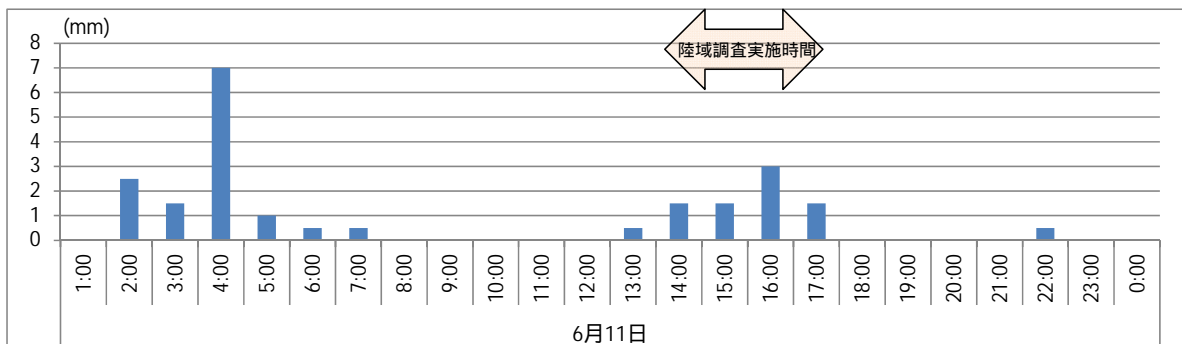


図 4.4-4 踏査当日の降雨状況(本部観測所)

(a) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-5 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

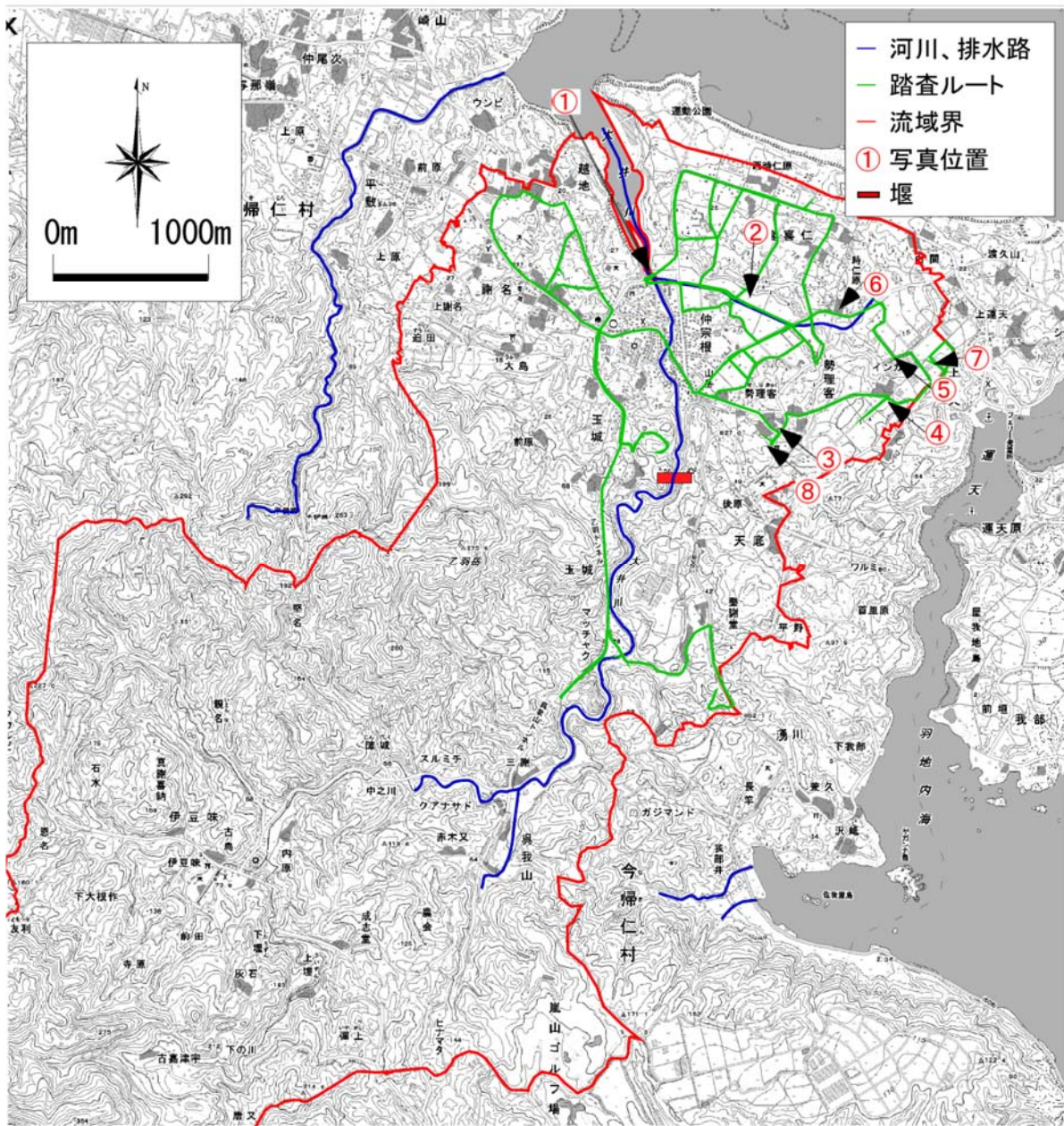


図 4.4-5 大井川(今帰仁村)河口 陸域調査位置図(1回目)

- ・ 河口部においては、東支流から若干濁りが確認される程度であった(写真)。



地点 河口部

東支流の流域にある、昨年度確認各種流出懸念箇所については、

- ・ 地点 では、造成は終了しており、ビニルハウスができており、裸地面積は大幅に減少していた。
- ・ 地点 では、昨年度と同様、草本が茂っており、流出可能性は少ないと考えられる。
- ・ 地点 では、昨年度と比べ裸地が広がっており、流出可能性が増大した。
- ・ 地点 では、前回とほぼ同様の状況であり、依然として流出源として懸念される。
- ・ 地点 では、一昨年度と同様、道路への流出痕がみられ、依然として流出源として懸念される。
- ・ 地点 では、昨年度とほぼ同様の状況であり、依然として流出源として懸念される。



地点 今年度の状況(改善)



地点 前年度の状況



地点 今年度の状況(変化なし)



地点 前年度の状況



地点 今年度の状況(悪化)



地点 前年度の状況



地点 今年度の状況(変化なし)



地点 前年度の状況



地点 今年度の状況(流出痕)



地点 一昨年度の状況(流出痕)



地点 今年度の状況(変化なし)



地点 前年度の状況

- ・ その他、新たに、流出が懸念される造成地が確認された(地点)。大きさは30m×10m程であり、条例にかかる看板等は確認されなかった。



地点 新規確認造成地



地点 新規確認造成地

2) 第2回調査(平成27年2月19日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-6に示した。調査日当日には降雨が確認されなかったことから、平常時の陸域調査として実施した。

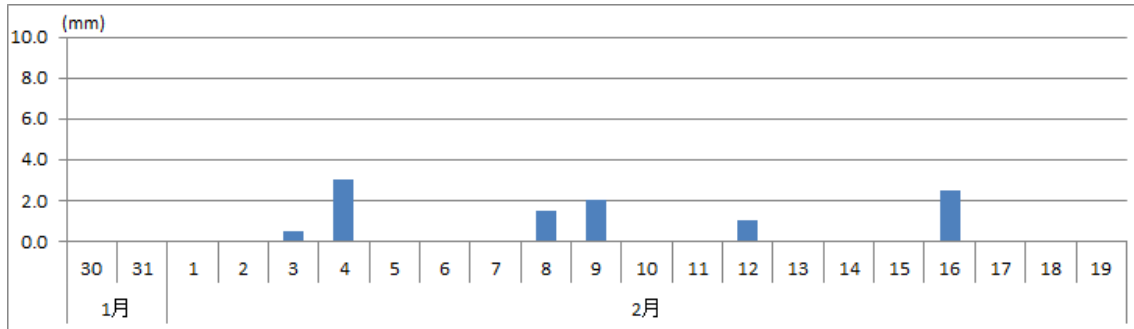


図 4.4-6 調査日前20日間の降雨状況(本部観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-7 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

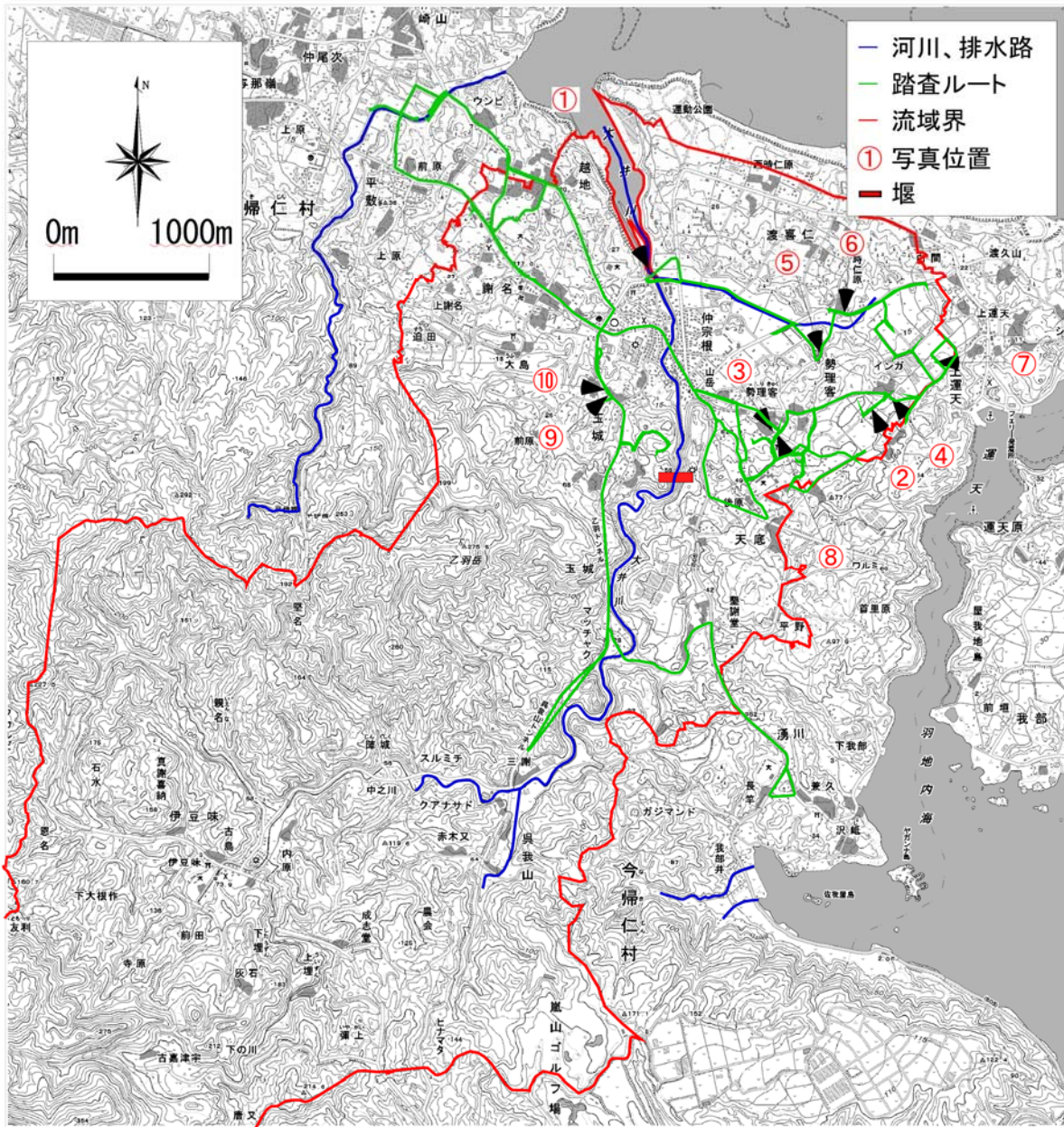


図 4.4-7 大井川(今帰仁村)河口 陸域調査位置図(2回目)

- ・ 河口部においては、流入量が少なかった(写真)。



地点 河口部

東支流の流域にある、昨年度確認各種流出懸念箇所については、

- ・ 地点 では、畑の水まきの際に、多量の赤土が流出しており、降雨時の赤土流出可能性が考えられる。
- ・ 地点 では、第 1 回目調査と同様、草本が繁っており、流出の可能性は少ないと考えられる。
- ・ 地点 では、第 1 回目調査と比べ、草本が繁り、裸地面積は大幅に減少していた。
- ・ 地点 では、第 1 回目調査と同様、依然として流出源として懸念される。
- ・ 地点 では、第 1 回目調査と同様、道路への流出痕がみられ、依然として流出源として懸念される。
- ・ 地点 では、第 1 回目調査と比べ、草本が繁り、裸地面積が大幅に減少した。



地点 畑から流れ出した赤土



地点 今年度の状況(変化なし)(第1回目地点)



地点 今年度の状況(改善)(第1回目地点)



地点 今年度の状況(変化なし)(第1回目地点)



地点 今年度の状況(流出痕)(第1回目地点)



地点 今年度の状況(改善)(第1回目地点)

- ・ 地点 では造成後、草本が繁り、赤土流出の可能性が激減した。



地点 新規確認造成地(改善)(第1回目地点)



地点 新規確認造成地(改善)(第1回目地点)

- ・ その他、新たに、流出が懸念される造成地が確認された(地点)。大きさは10m×10m程であり、赤土流出の可能性は低いと考えられる。
- ・ また崖崩れに伴い、流出の防止対策が施されていた(地点)。



地点 新規確認造成地



地点 ブルーシートによる赤土流出の防止

(2) 大小堀川河口

1) 第1回調査(平成26年6月11日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-8に示した。調査日当日には21.5mmの雨が降ったことから、降雨時の陸域調査として実施した。また、調査当日の毎時雨量を図4.4-9に示した。

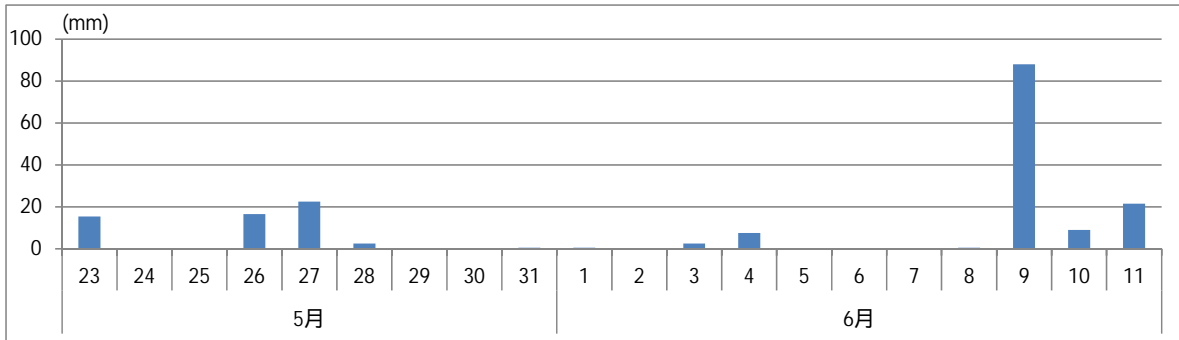


図 4.4-8 調査日前20日間の降雨状況(本部観測所)

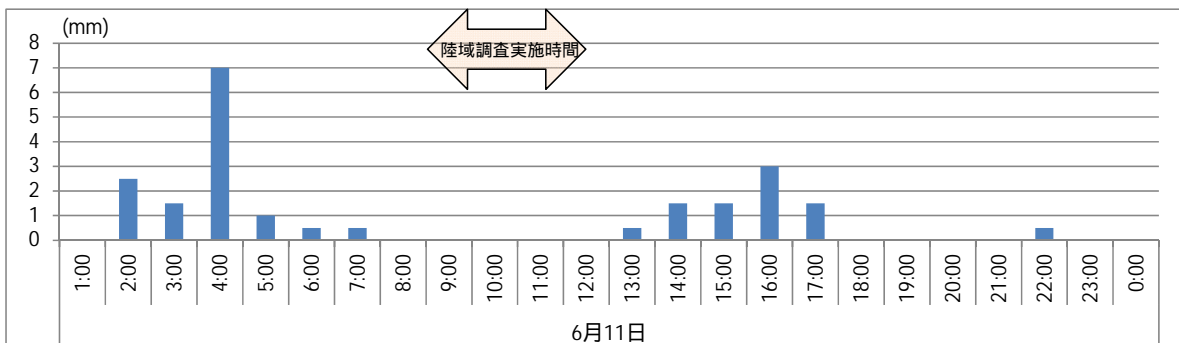


図 4.4-9 踏査当日の降雨状況(本部観測所)

(b)流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-10 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

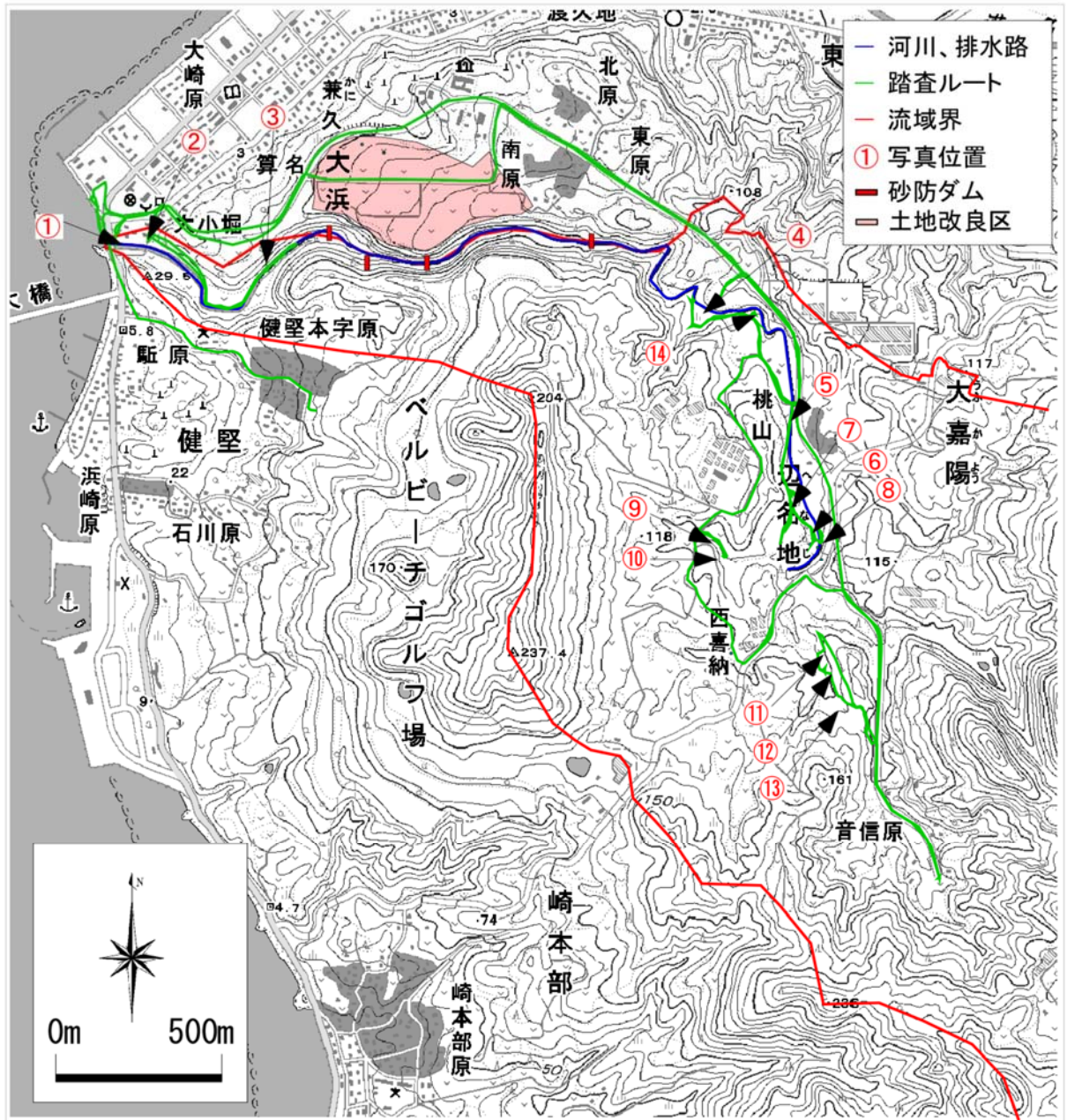


図 4.4-10 大小堀川河口 陸域調査位置図(1回目)

- ・ 河口部では、濁りの拡散が確認された (地点)。



地点 河口部(濁りあり)

- ・ 河口近くの下流域においても濁りが確認されたが、採水すると濁度は、9.8 (度)程度であり、濁りは薄かった。



地点 下流域(濁り有り)



地点 採水状況

- ・ さらに上流の砂防ダム直下地点においては、同じく濁りが確認されたが、採水すると濁度は 10.2 であり、濁りは薄かった。



地点 下流域(濁り有り)



地点 採水状況

- ・ 第1回調査で確認した、造成に伴う土砂崩れ箇所は、前年度同様の状況であり、裸地斜面が確認された(地点)。



地点 造成に伴う土砂崩れ箇所



地点 前年度の確認状況

- ・ 前年度確認された農道整備工事は、現在すでに終了していた(地点)。



地点 工事終了



地点 昨年度の状況

- ・ ただし昨年度確認した農道整備地奥の裸地は、依然として存在し流出可能性が懸念される状況であった(地点)。その横の水路においては濁りが有るように見えたが、採水すると濁度は10.5(度)であり、濁りは薄かった(地点)。



地点 農道横の裸地



地点 農道横の裸地



地点 農道横の河川(濁り有り)



地点 採水状況

- ・ 流域内の農地保全整備事業においては、前年度同様、斜面緑化工が実施されており、流出状況は確認されなかった(地点)。なお、本区画内で発生した濁水は沈砂地に全て流れ込む構造となっている(地点)。



地点 整備事業内状況



地点 整備事業内沈砂地

- ・ 一昨年度に大規模な造成裸地として確認され、昨年度に畑としての利用が確認された箇所は、現在も畑として利用されていた(地点)。なお、本箇所の面積は、300m×100m ほどである。
- ・ 赤土等流出防止対策として沈砂地も確認され(地点)、流出可能性は昨年度と同様減少したと考えられる。



地点 葉野菜栽培



地点 沈砂池



地点 畑と沈砂池状況



地点 パパイヤ栽培

- ・ 河川沿いに沈砂池が確認され、貯留水は著しく濁っていた。調査時では、濁水が流出していなかったが、増水時にはそこから濁水が流出すると考えられる。なお、採水したところ濁度は 100.2(度)であった。



地点 沈砂池状況



地点 採水状況